

第1回業界標準説明会

- ・ホンダ様が先行実施してEDIFACTを採用しているので事例に取り上げて欲しかった。
 今後、検討します。
- ・JAMA / JAPIAのユーザーでのEDIFACT利用ユーザーのトランスファーの実績が欲しい。
 申し訳ございませんが、今のところトランスレータで、報告できる程度の実績はありません。
- ・標準パターンでのMAPを提供出来ない物でしょうか？
 個別に開発しなくてはならず、結果として工数、費用も掛かります。
 標準EDIでもホストプログラムは必ず開発の必要が有ります。
 当該のOEMにお聞きいただいた方が、身近な解決案が出ると思われます。
- ・当社ではOPEL様、FORD様のEDI変換においてとても、時間が掛かりました。
 JAMA / JAPIAの会員の皆さんで開発時に質問出来る掲示板があると便利です。
 例えばFORDの何々で困っています。
 先行ユーザーで分かる方の返信が戴けると、など。
 これは国内のOEMメーカーでも同様ではないでしょうか？
 当該のOEMにお聞きいただいた方が、身近な解決案が出ると思われます。
- ・各自動車関連会社様のEDIFACTに対する動向予定について(アプリケーション単位に)。
 ホームページの「各社の展開計画・実施状況」をご参照ください。
- ・各自動車関連会社様のCAIの利用について。
 一部のOEMで使用予定があります。
- ・目的・ねらいと背景に関しては理解できました。しかし、現実には各自動車メーカーとも通信手順が違うため、結局各社が配賦するパッケージソフトを利用するしかないと考えます。でしたら、MAPに関する部分が標準化を理由にパッケージ別枠になっていること自体が非効率になります。項目内容は仕方がないとしても単一のMAPで対応が可能にならないと現状より費用がかさむだけでなんの効果もない投資が必要になります。また、JNXに関しても接続は物理的には可能ですが、接続方式の標準化が出来ないと効果がありません。EDIFACTを期にJNXでの接続形式、各社の対応手段を具体的に体系的にご説明いただければ助かります。そうしない限り一社一社の説明会を確認した後、共通点を見つけ、且つまた各社に対して個別に対応するようになりますので、標準化に対する不満が先行し、肝心のねらいがどこかに消えてしまうのではないのでしょうか？この辺の不安を解消していただけるような
 当該のOEMにお聞きいただいた方が、身近な解決案が出ると思われます。
- ・必要な費用の概算もお教えいただけると、更に良いと思います。
 各社まちまちの為一概にはいえません。
- ・EDIFACTのトランスレータについて、推奨メーカー、金額等も説明会でお話を頂きたい。 - - - あくまでも予算確保の参考にしたい為。説明会で、金額的には数十万から数百万でピンキリですとのお話が有りましたが。
 データの規模、対応方式等、各社まちまちであり、トランスレータの選定について、当該のOEMにご相談いただければ助言は出来ると思えます。
- ・『EDI標準化説明会』というタイトルから受けた印象と内容の隔たりを感じました。活動報告や標準化までの経緯も大切な要素だと思えますが、いかに対応していく必要があるのかが大切なポイントだと考えていましたので、そちらの方に興味を寄せていました。つまり、EDI標準化は、各OEMメーカー毎で順次実施することになりますが、それらを総括している印象があったので、各OEMメーカーの説明会は別の機会に譲るとしても、全体的にどのような導入スケジュールになるのかといった説明を期待していました。また、EDIFACTのマッピングの仕方やガイドラインの見方、JAMA・JAPIAで固有に定義した項目等の説明と、マッピングの講習会でないと分かっていますが例題をもう少し多くして、説明の時間を多く取って欲しかったと思います。
 導入スケジュールについては、ホームページの「各社の展開計画・実施状況」をご参照ください。
 ご意見は、今後行う説明会の内容編成の参考にさせていただきます。

- ・先行部品メーカーのEDIFACT対応事例発表会的なものが企画可能であれば、参考に参加させて頂きたい。
検討してみます。
- ・自部工会会員各社の取り組み状況、課題、問題点或いは要望事項の例を取上げ、説明会で自工会に対策案を聞くようにしてはどうか。
具体的な事例があれば、取り上げたいと思います。
- ・システムを従事している立場の方が聞けば分かる内容ではあるが、管理者や業務担当者が聞いてもシステム寄りな説明が多すぎて難しく感じるのではないかと思った。
この説明会は、EDIFACTの知識のある人、または修得したい人向きに計画しました。
- ・唯一展開しているホンダ殿の事例(部品メーカー側)の事例発表があってもいいと思った。
ご意見、参考にします。
- ・各講演の時間配分を見直したほうが良い。メニューに比べ全体の時間が短すぎる気がいたします。
時間配分は再検討し、第2回説明会で反映しました。

第2業界標準説明会

- ・現在JAMA各メーカーにて対応しているEDIFACTだが、JAPIA各メーカーへの展開というのは今後ありうるのか
B2Bが拡大する今日、仕入先伝送システムを導入/検討しているJAPIA各メーカーもいると思うが
JAMAメンバーの対応後に、導入事例が出てくるものと思っています。
- ・UN/EDIFACT対応の中の新技术(XML)等について、今後調査したいと思っているので、資料があれば教えて欲しい
電子取引推進協議会(ETC)等のセミナーがあります。参考にしてください。
- ・標準帳票(納品書、現品票)がいつ統一されるのか知りたい
標準化スケジュールについては、ホームページの「各社の展開計画・実施状況」をご参照ください。
- ・JNXとの関連を聞きたい
EDIFACTとJNXは、直接的には関係しません。OEMがメッセージを発信する方法によります。
- ・費用面の具体的内容
データの規模、対応方式等、各社まちまちであり、あまりにも大まか過ぎるとの判断で費用について表明し切れませんでした。
- ・実際の事例でどんな活用の仕方をしているのかの話が聞きたい
まだ事例がないということであれば、こんな事が出来るというアプリ面での説明会を希望する
検討します。
- ・自工会で保障したトランスレータを提供して欲しい
自工会では、ベンダー殿への公正を期すため保証、推薦はおこないません。
- ・国(経済産業省)が進める統一EDIとの整合性は、今後どのように図っていくのか
自動車業界としては、EDIFACTを業界共通のツールとして活用していく予定です。
- ・EDIFACT99Aとは古いのでは?(4年前の標準である)
99Aと最新バージョンとでは、大きな違いはありません。
- ・導入例:自動車業界を説明して欲しい
検討します。
- ・部品メーカーとして帳票の標準化は実業務面で効率化が見込まれます
こちらの標準化を早急に実施して欲しいです
OEM各社ががんばって展開中です、よろしくお願いします。
- ・改定の対応はOEMメーカーにより異なるとの説明でした。
そうなると、A社が改定してもB社が改定しない例がおきえます(例:メーカーによりコードが異なる)

これでは標準化の意味が無いのではないのでしょうか

根幹の部分は異なりません、枝葉の部分での違いですので効果は上がると判断しています。

・ガイドラインのバージョンが変わる理由、その度合等

ガイドラインの小変更は、効果・効率の向上等目指したもので年1 - 2度行います。

大変更は、EDIFACTバージョンを変更する場合で、数年後に1度行う予定です。

・導入済みのOEM、サプライヤの苦労話等

検討します。